

令和 8 年度名古屋大学理学部

総合型選抜学生募集要項

(大学入学共通テストを課さない)

志願者は、この「学生募集要項」をダウンロードして印刷し、総合型選抜の内容、各手続の方法や締切日（時間）、注意事項等を十分に確認したうえで、必要な手続や準備を行ってください。

また、本要項は入学手続まで保管してください。

不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜方法等を変更する可能性があります。変更が生じた場合は、下記の〔入試に関するお知らせ（NEWS）〕で随時公表しますので、出願前や受験前は特に注意して最新の情報を確認するようにしてください。

○名古屋大学 受験生応援サイト〔入試に関するお知らせ（NEWS）〕

<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/news>



名古屋大学

令和 7 年 7 月

<目 次>

○名古屋大学の教育を支える3つの方針	1
○理学部の教育を支える3つの方針	2～3
1 総合型選抜を実施するにあたって	4
2 募集人員	4
3 出願手続から入学までの日程	5
4 総合型選抜の対象者（出願資格・要件）	5
5 出願に当たっての留意事項	
(1)併願について	6
(2)合格後の留意事項	6
(3)入学辞退	6
6 選抜方法・日程等	6～7
7 受験上の配慮を必要とする者の出願	8
8 出願手続	
(1)出願の流れ	8～9
(2)事前準備	9～11
(3)インターネット出願登録期間および入学検定料等納入期間、出願期間	11
(4)検定料と納入方法、検定料免除、検定料返還について	12～13
(5)郵送で提出する出願書類	13～15
(6)インターネット出願の方法	16～19
9 受験票の印刷	20
10 合格者の発表	
(1)発表方法・発表日時	20
(2)合格通知書	20
11 入学手続	
(1)入学料等学生納入金（予定額）	20
(2)留意事項	20～21
(3)入学手続完了までの流れ	21
(4)入学手続の方法・留意事項	21～22
12 個人情報の取扱い	22
13 問い合わせ先	23
【大学案内及び学部紹介冊子の請求方法】	23
【修学費支援・学生の宿舍等・学研災保険制度・学生生活の準備】	24～27
名古屋大学東山地区配置図	28
■出願～入学手続に使用する主なサイトとその機能	29
■理学部関連サイト	最終ページ下段（二次元バーコード）

名古屋大学の教育を支える3つの方針

●名古屋大学の教育の基本理念と育成する人間像

名古屋大学は「**学術憲章**」(2000年制定)で、「名古屋大学は、自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする。とりわけ、人間性と科学の調和的發展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する」と、その使命を定めています。さらに「学術憲章」では「研究と教育の基本目標」として、「(1)名古屋大学は、創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。(2)名古屋大学は、自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ**勇氣ある知識人**を育てる」という基本理念を掲げています。

この「学術憲章」に示される基本理念の下で、名古屋大学は日本における基幹総合大学の一つとして、創造的な教育・研究活動を通じ、豊かな文化の構築と科学・技術の発展に寄与してきました。21世紀に入り6名のノーベル賞受賞者を輩出するなど世界屈指の研究成果を生み出すとともに、既存の権威にとらわれることのない自由闊達な学風の下、多数の進取の気性に富んだリーダー人材を育成してきています。名古屋大学はこれらの人材や知的成果を広く社会に提供するための開かれた大学づくりに努めています。冒頭で述べたように、「**勇氣ある知識人**」を育成する人間像として示しています。

「**勇氣ある知識人**」とは、責任感をもって社会に貢献しようとする高い志とグローバルな視野をそなえ、幅広い教養と高い専門性を身につけ、人々の幸福や持続可能な社会の発展を妨げる諸問題の解決に積極的に寄与できる人材を言います。このような真の勇氣と知性を持ち、未来を切り拓いていける人が、名古屋大学が育成しようとしている人間像なのです。

この「**勇氣ある知識人**」を支える力となるのが、十分な知識・技能、主体的な創造性、立ち向かう探究心です。こうした優れた資質・能力を持った人を、名古屋大学は、多面的な学術研究活動と自発性を重視する教育実践によって育成しています。

●3つの方針に基づく大学教育の質の向上

名古屋大学では、このような教育を適切に実施するため、①卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、②教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)、③入学者受入れ・選抜の方針(アドミッション・ポリシー)という3つの方針を学士課程及び大学院課程において定め、広く学内外に向けて公表しています。

これらの方針は、名古屋大学の教職員にとっては、大学がめざす教育を実現するための指針であり、つねに立ち戻って教育のあり方を点検するための指標でもあります。名古屋大学への入学を志望する者にとっては、入学後に期待できる教育のあり方や、入学までに身につけておくべき素養について知るための情報源となります。また、名古屋大学に在学する学生にとっては、本学で提供されている教育が何をめざしているのかを普段から意識するための手がかりとなります。さらに卒業生や修了生の活躍の場となる社会にとっては、名古屋大学がどのような資質・能力をそなえた人材を育てているのかを理解する拠りどころとなります。

これら3つの方針は、相互に密接に関連してこそ、その真価を発揮します。名古屋大学では、教育の基本理念と育成をめざす人間像を起点として、3つの方針を一体的に定めています。そして、このように一体的に定められた3つの方針に照らして、本学の教育のあり方を自己点検・評価し、教育の質を向上させていく取組を積極的に進めています。

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

[学士課程]

名古屋大学は、各学部・学科の教育目標と基準に沿った資質・能力の卒業資格を満たした者に、卒業を認定し、学士の学位を授けます。名古屋大学の学位は、真の勇氣と知性を持ち、未来を切り拓いていく「**勇氣ある知識人**」として、それぞれの学術分野で、十分な知識・技能、主体的な創造性、立ち向かう探究心が培われたことを証します。

名古屋大学では、学部・学科ごとに、学術分野の特徴に基づき、社会からの期待に応えるために育成する人間像を教育目標として設定しており、それに基づく基準を定めています。学士の学位は、各学部・学科のカリキュラムの履修を通して、その基準に対応した資質・能力を身につけた学生に対して授与されます。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

[学士課程]

名古屋大学は、高度で幅広い教養を育むための教養教育と、飽くことなき探究心の涵養と新たな知の主体的創造につながる専門教育との二本柱からなる体系的な教育課程により、学生を育てます。多様な授業形態の組み合わせによる教育課程の展開と自発的な学修の促進を図り、学術分野の特徴を活かした、教育実践及び学修指導を適切に実施します。

名古屋大学では、学部・学科ごとに教育目標として設定した、育成する人間像に対応する資質・能力を培うためにふさわしい教育課程を編成し、実施しています。

入学者受入れ・選抜の方針(アドミッション・ポリシー)

[学士課程]

名古屋大学は、未来の「**勇氣ある知識人**」を目指す人を国内外に求めます。各学部・学科の学術分野の特徴に基づき、基礎的な学力とそれを活用する能力、さらにそれを発展させようとする意欲や態度を適正に評価して選抜する入試を実施します。

名古屋大学では「学術憲章」に掲げているように、「**勇氣ある知識人**」の育成を目指しています。「**勇氣ある知識人**」として必要な資質・能力は、大学教育での学びだけで培われるわけではありません。中等教育で身に付けた土台の上に立つてこそ、**勇氣ある知識人**への成長が可能になります。そのため、名古屋大学では、基礎的な学力とそれを活用する能力、さらにそれを発展させようとする意欲や態度を備える人を国内外に求めています。

各学部・学科の特徴に基づき、多様な評価方法を適宜組み合わせた入試を実施し、ひとりひとりの学生を選抜します。

理学部の教育を支える3つの方針

■卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

（1）育成する人材像（教育目標）

理学部は、以下に示す資質・能力等を備え、卒業資格を満たした者に、卒業を認定し、学位を授与します。

- ・自然の理を解き明かそうとする探究心と独創的で柔軟な思考を有する
- ・基礎科学の研究をとおして、科学的素養を身に付け、社会の様々な分野で貢献することができる

（2）卒業、修了判定時に課している基準（必要要件）

学位を取得するためには、入学後、本学部に4年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位（数理学科133単位、物理学科128単位、化学科127単位、生命理学科125単位、地球惑星科学科129単位）以上を修得することが必要です。

■教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

理学部は、自然への探究心を涵養し独創的で柔軟な思考力を育成するために、年次進行に沿って下記の方針を定めています。

- （1）初年次教育は、基礎を学びながら自分の進みたい学科を選ぶ期間を設定しています。
- （2）全学教育科目と1年次に配置されている専門基礎科目を受講することにより、数学や理科の基礎科目はもちろん、物事に対する考え方や議論の方法そのものを学ぶ専門リテラシー、人文社会系の教養科目、外国語など、高度知識人に相応しい教養を身につけます。
- （3）1年次終了時に、希望や成績などによって各学科への配属が決定される学科分属制度を採用しています。この制度は、理学部の大きな特長で、総合的な視座から研究や社会をリードできる人材を育成しようとする考えに基づいています。なお、総合型選抜、私費外国人留学生入試、国費外国人留学生・外国政府派遣留学生入試等入学者は優先的に合格した学科へ分属することができます。
- （4）2年次以降は、各学科に分かれて、専門基礎科目や専門科目により、基礎から専門的な講義までを体系的に受講します。演習を取り入れ、実験系では多くの時間を実習にあてて重点的な指導を行っています。いずれの学科でも最新の研究成果を取り入れた教育を行っています。加えて、他学科の講義も履修でき、自然科学の基礎知識を一層広げることができます。
- （5）4年次には、さらに専門的な講義を実施するとともに、各研究室に配属されて、これまで3年間の蓄積を実際の研究現場で活用し、自主的な学習と研究による卒業研究に取り組みます。
- （6）各科目の学習成果は、定期試験、レポート、セミナー発表など、シラバスで定める方法により評価します。

これらのカリキュラムに適切に配置された科目を修得し、卒業研究に取り組むことにより、教育目標に掲げた資質・能力を兼ね備えた人材を育成します。

■入学者受入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

（１）入学者受入れの方針

自然界を貫く真理の探究に挑むため、総合的な基礎学力に加えて理学の諸分野における幅広い教養と深い知識を持ち、チャレンジ精神と知的好奇心に満ちあふれた、瑞々しい創造力をもつ人を求めています。

（２）総合型選抜（大学入学共通テストを課さない）の基本方針

総合型選抜では、専門分野への強い知的好奇心とチャレンジ精神を持った学生を選抜するため、学科独自の選考を行います。提出書類により高校での学習成果や、様々な活動への自主的な取組状況を評価します。また、専門科目に対するチャレンジ精神、知的好奇心、表現力、説明力などを基礎学力とともに、学科の実施する小論文および面接（口頭試問）により評価します。

■各学科が求める人物像

【化学科】

化学科では、物質科学や生命科学の発展に貢献する新物質の創製や真理の探究に挑むため、総合的な基礎学力に加えて化学や生物における幅広い教養と深い知識を持ち、チャレンジ精神と知的好奇心に満ちあふれた、瑞々しい創造力をもつ人物を求めます。

【生命理学科】

生命理学科では、生命を構成する分子から個体、さらには生命の進化や生態を網羅する広範な生命現象及びそれに関連する自然科学分野を研究しています。生命理学科の総合型選抜では、このような生命現象と自然科学分野に強い知的好奇心を持ち、既成概念にとらわれない自由な発想と柔軟な思考を通じて生命現象を司る原理を探求し、国際的な活躍を強く志す人物を求めます。

1 総合型選抜を実施するにあたって

名古屋大学理学部は、現在自然科学のすべての分野を網羅する規模を持ち、日本でも有数の施設、設備を備えています。数理学科、物理学科、化学科、生命理学科、地球惑星科学科の5学科からなり、関連の研究センターや研究所とともに、理学部の教育・研究を担当しています。

理学部では名古屋大学の中でもいち早く多様な人材を確保するため1979年から名古屋大学初の推薦入試（現学校推薦型選抜）を開始しました。

共通一次（現大学入学共通テスト）を課し、基礎学力を担保しつつも面接を実施して、意欲ある学生を獲得することを目指していました。以後、若干の変更は加えつつも、推薦入試（現学校推薦型選抜）において多様な人材そして意欲ある学生を獲得するという方針には変わりありませんでした。

理学部の教育の特長は、学生は、1年次には学科に属さず、全学共通教育を受けます。数学や理科の基礎科目はもちろん、物事に対する考え方や議論の方法そのものを学ぶ専門リテラシー、人文社会系の教養科目、外国語など、高度知識人にふさわしい教養を身につけます。1年次終了後に、希望や成績などによって各学科への配属が決定されます。このようなやり方は名古屋大学理学部の大きな特長で、狭い専門に凝り固まった人材ではなく、総合的な視座から研究や社会をリードできる人材を育成するために、自然科学や人文科学の十分な素養がついた上で専門を選択させようという、late specialization の考え方に基づいています。

一方で高校での学びも大きく変わりつつあり、特に高等学校におけるSSH等の活動により、高校時代に研究にふれる学生が増えてきました。そのことにより、1年次に学科に属さないことに、物足りなさを感じる学生が入学するようになりました。

理学部では、新学習指導要領に対応するための種々の変更を契機として、理学部らしい「尖がった」学生の獲得を目指すため、令和7年度入学試験から名古屋大学初の総合型選抜を導入することになりました。

総合型選抜合格者は、合格した学科に優先的に配属されます。しかしながら1年次の学びで合格した学科以外への分属を妨げるものではありませんので、学びの結果、学科を変更することができます。

総合型選抜については、この募集要項でご案内している化学科及び生命理学科においては、大学入学共通テストを課さず、10月に出願し、11月に選考を行います。一方で数理学科、物理学科及び地球惑星科学科の3学科については、大学入学共通テストを課すこととしました。この違いは、大学入学共通テストにおいて一定の学力を担保するかどうかにあります。数理学科、物理学科及び地球惑星科学科においては大学入学共通テストにおいて求める科目が大きく異なります。この異なる点は、進級する学生に対して、それぞれの学科が求めることに対応しています。総合型選抜での受験を希望する学生のみならず一般選抜、学校推薦型選抜で理学部を目指す皆さんにも、各学科が求める試験内容を是非確認してもらいたいと考えています。

2 募集人員

学科	募集人員
化学科	5名
生命理学科	5名

【注】「総合型選抜」において、合格者又は入学手続き者が募集人員に達しない場合には、その欠員分は「一般選抜」の募集人員に加えます。

【注】数理学科、物理学科及び地球惑星科学科は大学入学共通テストを課す総合型選抜を実施します。

「募集要項」は10月（予定）に別途公表します。（インターネット出願登録期間：2026年1月7日～1月22日、選考実施：2月9日）

3 出願手続から入学までの日程

	化 学 科	生命理学科
インターネット出願登録期間 および入学検定料納入期間	令和7年9月22日（月）10時～10月5日（日）15時	
出願期間	令和7年10月1日（水）～10月6日（月）15時 郵送必着	
第1次選考結果	10月24日（金）17時	
第2次選考	11月1日（土）小論文	11月8日（土）総合選考 （小論文・面接）
第2次選考結果	11月7日（金）17時	—
第3次選考	11月15日（土） 口頭試問を含めた面接選考	—
合格発表	11月21日（金）17時	
インターネット入学手続登録期間 および入学料等納入期間	12月1日（月）～12月7日（日）15時	
入学手続	12月8日（月）15時 郵送必着	

4 総合型選抜の対象者（出願資格・要件）

次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、かつ出願する学科の①から③のすべてを満たす者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和6年度中に卒業した者および令和7年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年度中に修了した者又は令和7年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを令和6年度中に修了した者又は令和7年度中に修了又は修了見込みの者

【化 学 科】

- ① 化学分野の学問・研究に強い興味と情熱をもつ者
- ② 自己推薦により自らの化学に対する興味と情熱を明確に示せる者
- ③ 合格した場合に、必ず入学することを確約できる者

【生命理学科】

- ① 生物学の研究に強い興味をもつ者
- ② 高等学校又は中等教育学校において下記A～Hのいずれかに該当する研究プログラムやコンテスト等で入賞あるいは上位の成績を修めたなどの活動実績のある者
 - A 国際学生科学技術フェア（ISEF）出場
 - B 日本学生科学賞（JSSA）中央最終審査進出
 - C 高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC）最終審査会進出
 - D グローバルサイエンスキャンパス（GSC）全国受講生研究発表会（サイエンスカンファレンス高校の部）発表
 - E 名大 MIRAI GSC 第3ステージ進出
 - F 名大みらい育成プロジェクト 第3ステージ進出
 - G スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒研究発表会 全体発表（代表校選出）
 - H 上記以外の自由研究や課題研究で優れた発表を公的に証明できるもの
- ③ 合格した場合に、必ず入学することを確約できる者

5 出願に当たっての留意事項

(1) 併願について

大学入学共通テストを課さない総合型選抜（理学部）において、出願できるのは1つの学科のみです。また、同時期に実施する大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜（文学部）との併願はできません。

(2) 合格後の留意事項

- ① 総合型選抜の合格者は、所定の期日までに入学手続を必ず行ってください。

(3)の手続により入学の辞退を許可された場合を除き、所定の期限内に入学手続を行わなかった場合は、本学への入学を辞退したものとして取り扱いますので、十分注意してください。この場合は、本学及び他の国公立大学・学部一般選抜を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。

- ② 入学手続を完了した者は、本学及び他の国公立大学・学部一般選抜を受験しても、その合格者とはなりません。

(3) 入学辞退

総合型選抜では、合格した場合には必ず本学への入学を確約できる者を募集しています。ただし、極めてやむを得ない事由により、本学に入学することが困難となった場合には、「入学辞退願」を令和7年12月8日（月）15時までに理学部入試担当（「13 問い合わせ先」参照）に提出し、許可を得なければなりません。許可された者のみ、本学及び他の国公立大学の一般選抜を受験することが認められます。

なお、特別な事情が発生した場合には、速やかに理学部入試担当に連絡してください。

6 選抜方法・日程等

(1) 選抜方法・日程

【化学科】

選抜は、第1次選考（書類審査）、第2次選考（小論文）及び第3次選考（口頭試問を含めた面接選考）により行います。

- ①第1次選考は、提出書類による書類審査を行い、約20名を第1次選考合格者とします。

第2次選考は、小論文試験を行い、約10名を第2次選考合格者とします。

第1次選考結果は、令和7年10月24日（金）17時に、

第2次選考結果は、令和7年11月7日（金）17時に、

「名古屋大学 受験生応援サイト」〔入試に関するお知らせ（NEWS）〕において発表しますので、必ず確認してください。

▶ <https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/news/>

- ②第2次選考は、第1次選考合格者に対して下表のとおりに行い、小論文の得点に、書類審査の得点を合算して、合格者を決定します。

試 験 日 時	試 験 区 分	試 験 場 所
令和7年11月1日（土） 10時00分～13時00分	小 論 文	名古屋大学理学部 C館 (28ページ 配置図D-3参照)

【注1】小論文は、化学に関する文書を読み、論述する形式です。

【注2】試験の集合時間、場所等の詳細は、第1次選考結果発表時に指示します。

【注3】大学が用意した電卓の使用を認めます。電卓は全受験生に貸与します。

- ③第3次選考は、第2次選考合格者に対して下表のとおりに行い、口頭試問を含めた面接選考の得点に、小論文の得点を合算して、合格者を決定します。

試 験 日 時	試 験 区 分	試 験 場 所
令和7年11月15日（土） 9時30分～17時00分	面 接	名古屋大学理学部 C館 (28ページ 配置図D-3参照)

【注4】面接は、複数教員による口頭試問を含めた個人面接です。

【注5】試験の集合時間、場所等の詳細は、第2次選考結果発表時に指示します。

【生命理学科】

選抜は、第1次選考（書類審査）、第2次選考（総合選考）により行います。

- ①第1次選考は、提出書類による書類審査を行い、約10名を第1次選考合格者とします。

第1次選考結果は、令和7年10月24日（金）17時に「名古屋大学 受験生応援サイト」〔入試に関するお知らせ（NEWS）〕において発表しますので、必ず確認してください。

▶ <https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/news/>

- ②第2次選考は、第1次選考合格者に対して下表のとおりに行い、第2次選考の結果で合格者を決定します。

試 験 日 時	試 験 区 分	試 験 場 所
令和7年11月8日（土） 9時15分～11時00分 12時45分～17時45分	小 論 文 面 接	名古屋大学理学部 G館 (28ページ 配置図D-2参照)

【注1】小論文は、冒頭で15分程度の講義を聞き、その後、論述する形式です。

【注2】面接は、複数教員による個人面接です。

【注3】試験の集合時間、場所等の詳細は、第1次選考結果発表時に指示します。

(2) 配点

【化学科】

	書類	小論文	面接	合計
第1次選考	100	—	—	100
第2次選考	100	100	—	200
第3次選考	—	100	300	400

第3次選考の結果に基づき合格者を決定します。

【生命理学科】

	書類	総合選考	合計
第1次選考	100	—	100
第2次選考	—	100	100

第2次選考の結果に基づき合格者を決定します。

7 受験上の配慮を必要とする者の出願

病気・負傷、障害のある者等で、受験上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、以下によりあらかじめ本学部と相談してください。

(1) 相談の時期

令和7年8月22日（金）まで

視覚・聴覚障害、体幹及び両上下肢の機能障害が著しい者で、
本選抜へ出願する者については、令和7年7月末日までに(2)の書類を提出し、相談してください。

(2) 相談の方法

以下の2点の書類を郵送で提出してください。①の様式は「名古屋大学 受験生応援サイト」〔入試情報を知りたい→出願・入学手続→受験上の配慮申請〕よりダウンロードして使用ください。

(<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/cat/index.html>)

①令和8年度名古屋大学入学試験 受験上の配慮申請書（ホチキスで留めないこと。片面印刷にして、クリップでまとめてください）

②病気、負傷、障害等に関する医師の診断書、障害者手帳等（写しでも構いません）

(3) 申請先・相談先

○受験上の配慮に関する申請：教育推進部入試課（「13 問い合わせ先」参照）

○入学後の修学に関する事前相談：アビリティ支援センター

<https://www.gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp/osd/>

電話 052-789-4756 E-mail [osd\[a\]gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp](mailto:osd[a]gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp)

※メールでの問い合わせは[a]を@に変えて送信してください。

8 出願手続

(1) 出願の流れ

志願者自身が行う出願手続の流れとそれぞれの期日は次ページのとおりです。

すべての手続を行い、期日内に必要書類（郵送）が名古屋大学へ到着することで出願が完了します。詳細は、「8 (2)～(6)」を確認してください。

志願者は、15ページの＜志願者へ＞にも目を通し、生命理学科出願にあたっては、志願者以外が作成する書類があるため、高等学校等と事前に十分に相談したうえで出願してください。

「8 出願手続」～「11 入学手続」に記載されている SakSak出願システム、合否照会サイト、Web入学手続きシステムの各URLと二次元バーコード及び主な機能（用途）の一覧を、29ページにまとめています。

① 事前準備・必要書類の取得



② インターネット出願サイト（SakSak出願システム）で出願登録



令和7年9月22日（月）10時～10月5日（日）15時

③ 入学検定料の納入（SakSak出願システムを利用）



令和7年9月22日（月）10時～10月5日（日）15時

※出願登録と入学検定料の納入だけでは、出願が完了したことにはなりません。

④ 出願書類の印刷，準備



⑤ 出願書類を郵送

令和7年10月1日（水）～10月6日（月）15時 郵送必着

○郵便局の窓口から＜簡易書留・速達郵便＞で、出願書類を郵送する。

※期日までに到着しない場合は、出願を受理しません。（持参不可）

※インターネット出願で利用する「SakSak出願システム」は、「受験票」のダウンロードや「合格通知書」の確認等にも利用します。

(2) 事前準備

SakSak出願システムの利用に際して、パソコンや情報端末等の必要なデバイスの環境・設定条件、志願者本人が準備しておくことは以下のとおりです。

ア 動作状況の確認

出願登録をするにあたり、インターネットに接続されたパソコン、あるいはスマートフォン、タブレットを使用します。次の動作環境を満たすデバイスを用意してください。推奨ブラウザ以外のブラウザを使用した場合、正常に動作しないことがあります。ご家庭に該当する環境がない場合は、学校、知人等で利用できるよう確認しておいてください。

【推奨環境】

○Windows10, Windows11

Microsoft Edge 135.0

Google Chrome 135.0

○Mac (OS 15.4)

Safari 18.4

○スマートフォン・タブレット

iOS 18.4 Safari 18.4

Android 15以降 Google Chrome 135.0以降

ポップアップブロックを無効に設定してください。

※Androidスマートフォン・タブレットを使用の場合は、使用機種の標準ブラウザでは入学検定料納入後に発行の「提出用書類」(PDF) がダウンロードできない場合があります。

Androidスマートフォン・タブレットのブラウザはChromeを使用してください。

○ブラウザの設定

JavaScriptを有効にする／Cookieを有効にする

【スマートフォン利用時の注意点】

ブラウザアプリ (iPhoneのSafari, AndroidのChrome) 以外のスマートフォンアプリ [LINE, X (旧Twitter), Yahoo等] 内で、SakSak出願システムのURLをクリックし、スマートフォンアプリの中の画面でSakSak出願システムを起動した場合は、「志願票」、「送付ラベル」が印刷できない等システムが正常に動作しないことがあります。ブラウザアプリを直接起動してSakSak出願システムのURLを入力してください。

印刷時にエラーが発生した場合は、上記の推奨環境でユーザID・パスワードを入力の上、再出力してください。

イ 必要なソフトウェア

○Adobe Acrobat Reader :

「志願票」、「送付ラベル」は、PDFまたはGoogleDocsで表示されます。これらの文書をご覧いただくためには、Adobe Acrobat Readerが必要です (無償)。出願に使用するパソコンにAdobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、最新版をインストールしてください。

(スマートフォン、タブレットの場合は、GoogleDocsでの表示を推奨。閲覧に際し、アプリのダウンロードなどは不要)

ウ 印刷できる環境

提出用書類 (様式) や入学検定料の納入後に発行される「志願票」、「送付ラベル」を印刷するためにプリンターが必要です。ご使用のパソコンにプリンターが接続されていることを確認してください。

※プリンターをご使用できない環境の場合、提出用書類等はPDFで表示されますので、PDFファイルを保存し、保存したファイルをコンビニエンスストア等で別途印刷してください。

※「送付ラベル」と提出書類は、14ページの表に書かれた各注意事項の指示のとおり印刷してください。

エ メールアドレス

志願者情報登録時にメールアドレスの入力が必須となります。登録したメールアドレスに「出願登録完了」、「入学検定料支払い完了」のお知らせメールが届きます。また、提出された書類に不備等がある場合、メールで連絡することもあります。

※メール受信設定の影響で、メールが届かないことがあります。

必ず@sak-sak.netを受信可能なドメインとして設定する等、メールを確実に受信できるよう設定を確認してください。

※登録されたメールアドレスは、インターネット出願で利用する「SakSak出願システム」で使用されます。「SakSak出願システム」は、「受験票」のダウンロードや「合格通知書」の確認 (入

学手続に必要)にも使うため、変更や解約の可能性がなく、日常的に本人が確認しやすいメールアドレスを準備してください。

※フリーメール(Gmail, Outlook, Yahoo, iCloudなど)のアドレスも利用可能です。

※キャリアメールを使用する場合は、機種変更、メールの受信設定等により連絡が届かなくならないよう注意してください。(キャリアメールとは、@docomo, @au, @ymobileなど契約している携帯電話会社が提供するメールアドレスのこと)

オ 検定料等の納入方法の確認

検定料の納入には、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、ペイジー対応の銀行ATMが利用できますが、利用可能なカード、金融機関、手続きなどに制限や注意事項があります。事前に、保護者等と確認をしてください。

カ 顔写真データ (14ページ②参照)

SakSak出願システムにアップロードする志願者本人の顔写真データが必要です。

○写真条件：出願前3か月以内に撮影した本人と確認できるもの

正面向き、上半身、無帽、背景なし、カラー写真

○ファイル形式：jpegまたはjpg形式

キ 出願書類の準備

志願者本人が作成する書類、学校長や教諭等が作成する書類があります。早めに進路指導担当教諭等と相談し、準備してください。

ク 市販の角形2号封筒 (240mm×332mm)

出願書類を郵送するため、この大きさの封筒を準備してください。

(3) インターネット出願登録期間および入学検定料等納入期間、出願期間

出願手続は、SakSak出願システムでの出願登録および入学検定料等の納入、出願書類などを<簡易書留・速達郵便>で郵送(以下の出願期限内に必着)することにより、完了します。

SakSak出願システムでの出願登録および入学検定料の納入だけでは、出願手続完了にはなりません。

なお、納入期限は出願登録日を含め4日間です。納入期限内に入金がない場合は、出願登録は自動的にキャンセルとなりますのでご注意ください。(キャンセルとなったときは再登録してください)

※納入締切日までの日数が4日より短い場合は、納入締切日・時間が優先されます。

インターネット出願登録期間 および入学検定料納入期間	出願期間
令和7年9月22日(月)10時～ 10月5日(日)15時	令和7年10月1日(水)～ 10月6日(月)15時 郵送必着

【注】出願期間後に到着したものは受理しません。

【注】出願書類の到着有無に関する問い合わせには一切応じません。簡易書留の受領証に記載されているお問い合わせ番号を用いて、郵便追跡システムで確認してください。なお、出願書類が受理されると、SakSak出願システムの「提出用書類」欄が〔済〕と表示されます。

〔出願状況確認〕→(該当の出願受付番号を選択)→〔出願状況詳細〕管理情報の「提出用書類」

(4) 検定料と納入方法、検定料免除、検定料返還について

ア 検定料等の料金、納入方法

(ア)出願登録の際に必要な料金

入学検定料：17,000円

※上記のほかに事務手数料が必要となります。

※出願書類を受理した後は、「ウ 検定料の返還について」に該当する場合を除き、いかなる理由があっても納入済みの検定料は返還しません。

(イ)納入方法等

入学検定料等の納入は、以下のいずれかの方法で行ってください。

- ・クレジットカード
- ・ネットバンキング
- ・コンビニエンスストア
- ・ペイジー対応銀行ATM

イ 自然災害等による検定料免除について

名古屋大学では、自然災害等による経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、本入試について検定料免除の特別措置を実施します。対象とする自然災害等や申請方法の詳細は、以下のサイトから確認してください。申請書も、こちらからダウンロードできます。

▶名古屋大学 受験生応援サイト

〔入試情報を知りたい→出願・入学手続→検定料の特別措置〕

<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/cat/saigai/>

(ア)免除申請の対象

対象とする自然災害等により被災した入学志願者のうち、次のいずれかに該当する者。

- (1)罹災証明書の交付があった者
- (2)学費負担者が死亡または行方不明の者

(イ)免除申請の手続

- ①検定料の納入前に、理学部の入試担当 [052-789-2808] へ検定料免除申請の連絡をする。
- ②該当すると判断された者は、上記の受験生応援サイトより「検定料免除申請書」をダウンロードして必要事項を記入し、罹災証明書（写し可）とともに、出願書類に同封して提出する。

ウ 検定料の返還について

納入済みの検定料は、原則として返還しません。ただし、以下の条件に該当する場合、振込手数料を差し引いた上で、検定料を返還します。

- A. 検定料納入後、出願しなかった者または出願が受理されなかった者
- B. 検定料を二重に納入した者
- C. 第1次選考の不合格者

< AまたはBの条件に該当する者 >

該当する場合、申請により納入した検定料全額を返還します。返還にかかる振込手数料は差し引かれます。

【手続方法】

該当者は、各自で以下のサイトから規定の様式「返還金請求書」をダウンロードし、必要事項を漏れなく記入のうえ、申請期限までに名古屋大学理学部 入試担当（「13 問い合わせ先」参照）へ郵送してください。

▶名古屋大学 受験生応援サイト（申請受付期間のみ様式を掲載）

〔入試情報を知りたい→出願・入学手続→インターネット出願（学部入試）〕

<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/cat/internet/index.html>

【申請期限】

令和 8 年 3 月 16 日（月）郵送必着

※期限を過ぎた申請（書類不備の場合の再送を含む）は受け付けません。また、提出された書類は返却いたしません。

<Cの条件に該当する者>

該当する場合、申請により納入した検定料の一部（13,000円）を返還します。返還にかかる振込手数料は差し引かれます。

【手続方法】

該当者へは、本学より「返還金請求書」を送付します。同封する手続方法に従い、申請期限までに「返還金請求書」を郵送してください。

【申請期限】

令和 8 年 3 月 16 日（月）郵送必着

※期限を過ぎた申請（書類不備の場合の再送を含む）は受け付けません。また、提出された書類は返却いたしません。

(5) 郵送で提出する出願書類

ア 書類の送付方法

SakSak出願システムでの出願登録及び入学検定料を納入したあと、出願に必要な書類を、「送付ラベル」を貼った角形 2 号封筒（240mm×332mm）に入れ、郵送してください。

(ア)送付先

SakSak出願システムの画面から「送付ラベル」を A 4 サイズでカラー印刷してください。「送付ラベル」に送付先と差出人（志願者名）等が印字されます。

(イ)送付方法

出願書類の提出は郵送(簡易書留・速達郵便)に限ります。

イ 出願に必要な書類等

14 ページの一覧を確認してください。注意事項は以下のとおりです。

- 提出された書類等に不備がある場合には、受理しません。
- いったん受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、受理後の出願書類等の変更は認めません。
- 【化学科】「自己推薦に基づく志願理由書」、「課題レポート」、【生命理学科】「志願理由書」、「研究報告書」、「志願者評価書」、「出願要件の確認書」については、必ず本学所定の様式に記入してください。別添資料等の提出は認めません。誤って提出された場合も、審査の対象にはなりません。また、資料の返却にも応じられません。
- 「志願票」はじめ提出書類に虚偽の記載をした場合、記載すべき事項を記載しなかった場合又は提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。
- 任意で提出を求めるものについては、参考として用いることがあります。詳細は15ページ<志願者へ>をご覧ください。

※出願書類④、⑤の所定の様式については、以下のサイトから令和8年度選抜のものをダウンロードしてください。(サイトへの掲載は出願締切日まで)

▶名古屋大学 受験生応援サイト〔入試情報を知りたい(学部入試→総合型選抜)〕

<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/us-exam/cat3/>

	出願書類等	注 意 事 項
①	送付ラベル [出願書類の送付先, 差出人等が印字されます]	○入学検定料納入後に, <u>SakSak出願システム</u> の「出願状況確認」から, 出願内容選択画面にて該当する〔出願受付番号〕→〔提出用書類印刷〕の順にクリックし, ダウンロードした「送付ラベル」を, A 4 サイズでカラー印刷 してください。 ○郵送用の角形 2 号封筒 (240mm×332mm) に貼ってください。
②	志願票 (志願票と写真票で 1 枚) 【注】	＜志願票＞ ○入学検定料納入後に, ①と同様にダウンロードをして, A 4 サイズでカラー印刷 してください。 ○ <u>SakSak出願システム</u> にアップロードした顔写真は, 志願票に印刷されます。 ※この写真は, 入学試験時の本人確認として使用します。
③	調査書 (学校において作成) 【注】	○文部科学省所定の様式により学校長が作成し, 厳封したものに限ります。 ○既卒の人は, 卒業後に発行されたものを提出してください。
④	【化学科の 求める書類】 a. 自己推薦に基づく志願理由書 b. 課題レポート	○上記の受験生応援サイトから所定の様式をダウンロードし, A 4 サイズで印刷 のうえ, 提出してください。
	【生命理 学科の 求める 書類】 a. 志願理由書 b. 研究報告書 c. 志願者評価書 d. 出願要件の確認書	○上記の受験生応援サイトから所定の様式をダウンロードし, A 4 サイズで印刷 のうえ, 提出してしてください。 ○c. 志願者評価書は必ず志願者が実施した研究(活動)について最も理解している者(公的な立場の教員・研究者)が記載し, 両面印刷し, 押印のうえ, 厳封してください。 d. 出願要件(A～H)を証明する「 出願要件の確認書 」については, 必ず学校長が押印のうえ, 提出すること。出願要件Hで出願する場合には, 優れた自由研究や課題研究の証明書も必ず提出すること。(厳封は不要です)
⑤	任意で提出を求める書類	○上記の受験生応援サイトから所定の様式をダウンロードし, A 3 サイズで印刷 のうえ, 提出する書類名などを記入し, 任意で提出する書類の写しを提出してください。 ○提出できる書類は, 英語力を示す各種試験の他 3 つまでとします。

【注】②志願票と③調査書の姓が異なる場合は, 証明する公的書類を添付してください。

<高等学校等の進路指導ご担当の方々へ>

調査書

厳封して志願者へお渡しください。

<志願者へ>

任意で提出を求める書類

- ①英語力を示す各種試験（TOEFL・IELTS・TOEIC・GTEC・英検等）の成績を証明する書類
- ②国際バカロレアのスコアを証明する書類
- ③スーパーサイエンスハイスクール（SSH）・ワールド・ワイド・ラーニング（WWL）・グローバルサイエンスキャンパス（GSC）・名大MIRAI GSC（グローバルサイエンスキャンパス）・名大みらい育成プロジェクトにおける活動状況を証明する書類
- ④数学・物理・化学・生物・地学の分野の各種オリンピック（例：化学グランプリ，全国物理コンテスト，物理チャレンジ等），科学分野のコンテスト等への参加状況を証明する書類
- ⑤新型コロナウイルス感染症の影響で，中止・延期となった活動等のプロセス

※参加予定であった部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等が，中止・延期等となった場合には，努力のプロセス等を，A4サイズ1枚（片面・様式自由）に記載のうえ，提出することが可能です。この書類は3つまで提出できる任意提出書類の1つとして扱います。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



手順 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット、プリンターなどを用意してください。

必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、顔写真データなど詳細は本募集要項の該当ページを参照



手順 2 SakSak出願システムにアクセス

SakSak出願システム

➔ <https://sak-sak.net/app/nagoyau>

または、

名古屋大学
受験生応援サイト
からアクセス

➔ <https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/cat/internet/index.html>





出願情報登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料納入前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

試験区分	インターネット出願登録期間 および入学検定料納入期間	出願期間
大学入学共通テストを 課さない総合型選抜	令和7年9月22日(月)10時～ 10月5日(日)15時まで	令和7年10月1日(水)～ 10月6日(月)15時 郵送必着

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①個人情報の取り扱いに同意のうえ、利用案内ページの「出願開始」ボタンをクリックし、インターネット出願手続きを開始



②試験区分、出願学部学科等を選択



③志願者情報の入力
※メールアドレス登録時に「メール受信確認」ボタンを押下し、お知らせメールが届くことを必ず確認してください。



④顔写真のアップロード(イメージ)



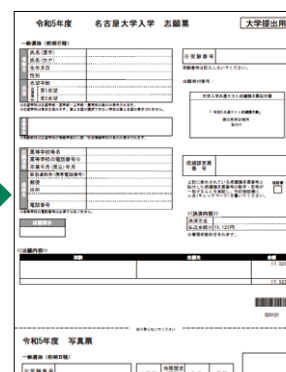
⑤アンケートの入力



⑥出願情報登録完了
※出願受付番号(10桁)は必ず控えてください。
出願情報等を確認する際に使用場合があります。



⑦入学検定料の支払い
(支払い方法)
●コンビニエンスストア
●ページー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑧出願書類の出力・印刷(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。
出力は①画面の「出願状況確認」より可能です。

入学検定料の納入は、出願情報登録完了画面に表示された「お支払い期限」内に必ずお支払いください。

【注】出願情報登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@sak-sak.net)からのメール受信を許可してください。
※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録後に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



※SakSak出願システムはクレジットカード決済において、3Dセキュア(本人認証サービス)を導入しています。クレジットカードによるお支払いを選択した場合、取引の不正利用検知・防止のために、当サイトで登録した氏名、電話番号、インターネット利用環境に関する情報をクレジットカード発行会社へ提供させていただきます。

Webで手続き完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン



Seicomart

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなとも、コンビニ、FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

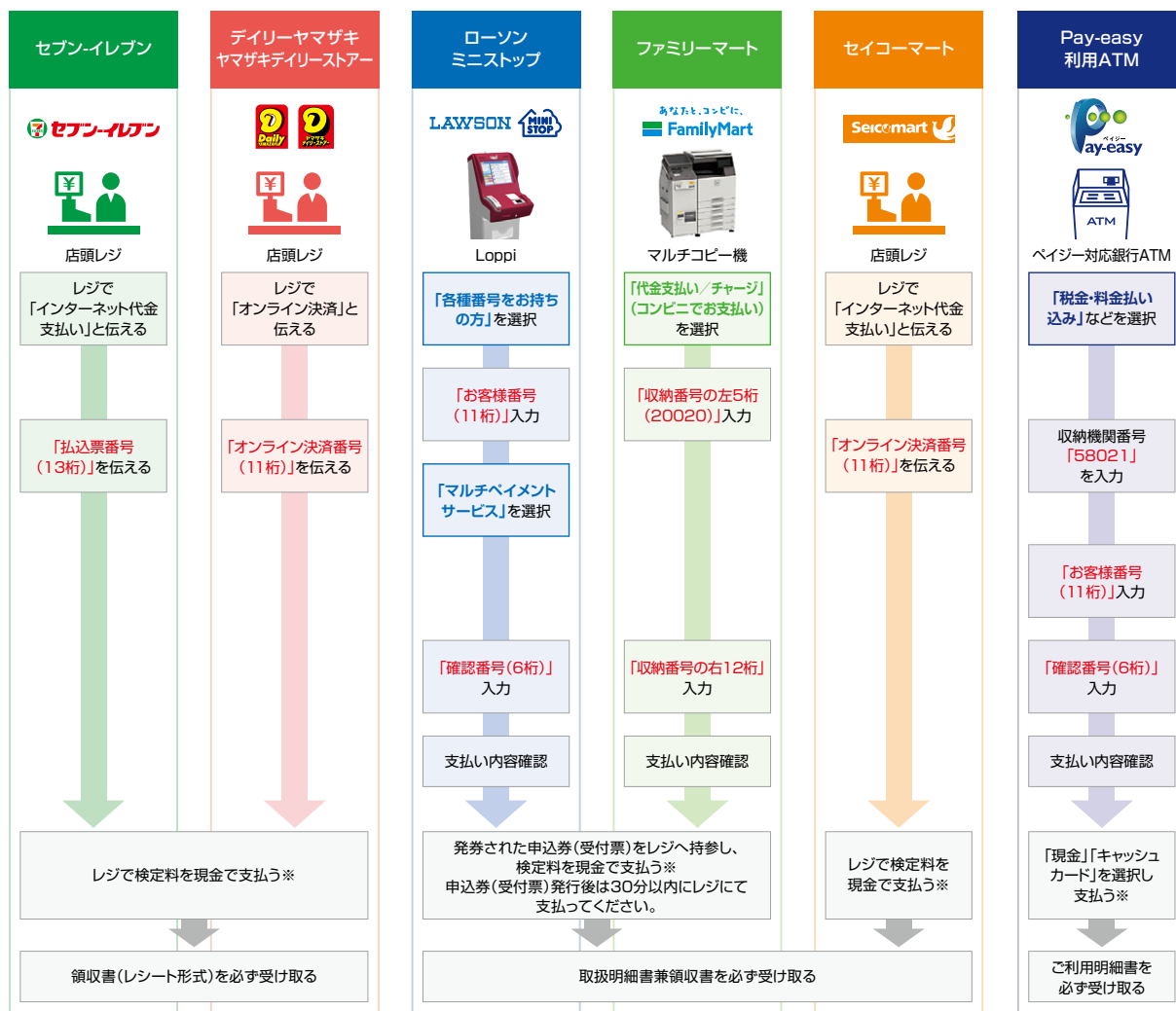
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょう銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

手順 5

必要書類の印刷と郵送

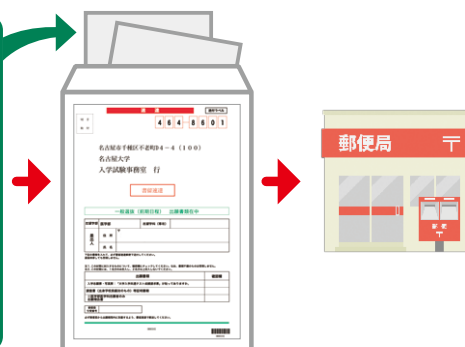
出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留・速達郵便」で郵送してください。

■出願書類

出願に必要な書類は、本募集要項の該当ページを参照。
SakSak出願システムから印刷する書類以外に
調査書（厳封）、志願理由書等がありますので、注意してあらかじめ準備をすすめてください。



出願書類の郵送先は「送付ラベル」に自動で印字されます。



出願書類提出用「送付ラベル」
市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
に貼り付けて作成

※一旦受理した入学検定料・必要書類は返却しません。

〈出願完了〉

出願時の 注意点

出願はSakSak出願システムでの登録完了後、入学検定料を納入し、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。
期限は上記(手順3)を参照してください。

インターネットでの出願登録は24時間可能です。出願登録、検定料の納入は出願締切日の前日15時までに完了している必要があります。(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)
必要書類の郵送は定められた期間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

9 受験票の印刷

令和7年10月15日（水）17時以降（予定）に、SakSak出願システムより、各自で必ずPDFファイルをダウンロードしてください。（本学から受験票の発送はありません）

第1次選考合格者は、第2次選考の前日までに、ダウンロードした受験票を印刷し、必ず試験当日に持参してください。

▶ダウンロードするもの：「名古屋大学受験票 総合型選抜」

▶受験票の印刷サイズ：A4

受験上の注意事項については、受験票を確認してください。

なお、ダウンロードした受験票に不備がある場合には、理学部入試担当まで連絡してください。

※印刷した受験票の裏面や余白に書き込みをしないでください。

※氏名について、コンピュータで表記できない文字は、文字を置き換えるか、カタカナ等で表記します。

※印刷した受験票は入学手続の際に提出が必要となりますので、大切に保管してください。

10 合格者の発表

(1) 発表方法・発表日時

【化学科】【生命理学科】

令和7年11月21日（金）17時に、「名古屋大学 受験生応援サイト」の〔入試に関するお知らせ(NEWS)〕において合格者の受験番号を確認することができます。

上記と同日時から、合否照会サイトにて合否確認することも可能です。

なお、合格者の掲示発表は行いません。電話・メール等による合否の問い合わせには一切応じません。

(2) 合格通知書

本学から受験者へ、紙（印刷物）での「合格通知書」の発行・発送はありません。

合格者は、SakSak出願システムで「合格通知書」の確認およびダウンロードをしてください。

「合格通知書」には、入学手続の情報が記載されていますので、確認のうえ、期間内に入学手続を進めてください。

※紙（印刷物）の「合格通知書」が必要な方は、ダウンロードしたものを各自で印刷してください。

画面で閲覧できる期間：令和8年3月26日（木）15時まで

11 入学手続

入学手続は、令和7年12月上旬に行います。

入学手続の流れと日程、手続の方法は、「11 (3), (4)」を確認してください。

(1) 入学料等学生納入金（予定額）

入 学 料	282,000円（入学手続時納入金）
学生教育研究災害傷害保険料	4,660円（入学手続時納入金）26ページ参照
授 業 料	前期分 267,900円（入学後に納入）
年 額	535,800円

【注】入学時及び在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな学生納入金額が適用されます。なお、一旦納入した入学料は返還しません。

(2) 留意事項

①総合型選抜合格者は、指定する期間、期日までに入学手続を必ず行ってください。

②入学手続完了者は、本学及び他の国公立大学・学部の一般選抜を受験しても、その合格者とはなりません。

(ただし、「5-(3) 入学辞退」により入学辞退の許可を得た者は除きます。)

(3) 入学手続完了までの流れ

合格発表から、合格者の入学手続完了までの流れは以下のとおりです。すべての手続を行い、期日までに必要書類が名古屋大学に到着することで入学手続が完了します。

① SakSak出願システムで「合格通知書」を開き、ダウンロードする



※Web入学手続きシステムへのログインに必要なユーザIDとパスワードが記載されています。

② Web入学手続きシステムで入学者情報登録



令和7年12月1日(月) 12時 ～ 令和7年12月7日(日) 15時

●Web入学手続きシステムのトップ画面より「入学手続要領」をダウンロードする。

③ 入学料等の納入 (Web入学手続きシステムを利用)



令和7年12月1日(月) 12時 ～ 令和7年12月7日(日) 15時

※インターネットでの入学手続と入学料等の納入だけでは、入学手続が完了したことはありません。

④ 提出書類を準備し、郵送

令和7年12月8日(月) 15時 郵送必着

○郵便局の窓口から＜簡易書留・速達郵便＞で、入学手続書類を郵送する。

(4) 入学手続の方法・留意事項

手続の詳細は、合格者がWeb入学手続きシステムからダウンロードする「令和8年度 名古屋大学入学手続要領」にて確認することになります。

本学から合格者へ「入学手続書類」等の送付はありません。

流れと概略は以下のとおりです。これらすべてを入学手続期限までに完了してください。

①SakSak出願システムの画面で「合格通知書」を開き、Web入学手続きシステムのログインに必要なユーザIDとパスワードを確認する。

②Web入学手続きシステムにログインし、各種同意事項を確認し、同意する。

③Web入学手続きシステムで、「令和8年度 名古屋大学入学手続要領」をダウンロードし、手続方法や注意事項を確認する。

④Web入学手続きシステムで必要事項を確認し、入力する。

⑤Web入学手続きシステムを利用し、学生納入金のうち、入学料と学研災（保険料）等の支払いに関する手続きを行い、入学料等を納入する。

※以下に該当する者は納入手続等の詳細を「入学手続要領」で確認してください。

- ・日本学生支援機構給付奨学金（多子世帯への授業料等無償化含む）採用候補者（予約採用者）
- ・日本学生支援機構給付奨学金（多子世帯への授業料等無償化含む）在学採用（4月）申込予定者
- ・大学独自の入学料免除申請予定者

⑥「入学手続要領」に記載されている必要提出書類（様式）を、Web入学手続きシステムからダウンロードして必要事項を記載する。

⑦入学料等納入後にダウンロードできる「宛名ラベル」を角形2号封筒に貼り、提出書類等を入れて簡易書留・速達郵便で郵送する。（書類の送付先は、出願時と同様「宛名ラベル」に印字されます）

※「【必読】入学準備・入学当初に関するお知らせ」（3月下旬から4月上旬の行事予定や入学準備事項をまとめたもの）をはじめ、入学準備に関わるファイルを、2月上旬（予定）にWeb入学手続きシステムにアップロードします。入学者へは追って連絡します。

12 個人情報の取扱い

- (1)個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「東海国立大学機構個人情報保護規程」に基づき、適切に管理します。
- (2)出願時に得た住所、氏名、生年月日その他の個人情報については、入学者選抜、合格者発表、入学手続業務を行うために利用します。
- (3)出願時に得た個人情報内容及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。また、入学者についてのみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (4)上記(2)及び(3)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うため、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度内で個人情報の全部又は一部を提供します。また、大学生活準備の情報提供のため、合格者の氏名・住所などの個人情報を名古屋大学消費生活協同組合に提供します。
- (5)国公立大学の一般選抜による合格者決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、可否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学への情報提供に使用します。

13 問い合わせ先

総合型選抜に関する照会については、下記において取り扱います。メールでの問い合わせは[at]を@に変えて送信してください。

受付は、月曜日から金曜日 9：00～17：00（祝日、8月9日～17日を除く）

〒464－8602

名古屋市千種区不老町D2－11 名古屋大学理学部 入試担当

電話 052－789－2808 E-mail ri-kyo[at]t.mail.nagoya-u.ac.jp

受験上の配慮申請に関する申請先・相談先は、以下のとおりです。

〒464－8602

名古屋市千種区不老町D4－4（100）名古屋大学教育推進部入試課

電話 052－789－5765 E-mail nyuusi[at]t.mail.nagoya-u.ac.jp

【大学案内及び学部紹介冊子の請求方法】

○『テレメール』から請求してください。

スマートフォン，パソコンから以下のサイトにアクセスして請求できます。

料金や支払い方法，発送予定日はテレメールのサイトで確認してください。

https://telemail.jp/_pcsite/?des=034281&gsn=0342855



【請求についての問い合わせ先】

株式会社フロムページ テレメールカスタマーセンター（9：30～18：00）

IP電話：050－8601－0102

【修学費支援・学生の宿舍等・学研災保険制度・学生生活の準備】

1. 修学費支援

(1) 高等教育の修学支援新制度（多子世帯への入学料・授業料無償化を含む）

令和2年4月から、大学等における修学の支援に関する法律に基づく修学支援新制度が始まりました。名古屋大学は、修学支援新制度の対象機関に認定されています。

高等教育の修学支援新制度は、以下2つの支援からなります。

○給付奨学金（原則返還が不要な奨学金）

○授業料等の減免（授業料と入学料の免除または減額）

本制度の申請を行う場合は、文部科学省及び日本学生支援機構の以下のページから制度の詳細を確認の上、新制度に該当する方は、在籍する学校又は卒業した学校を通じて予約採用手続を行うか、入学時に手続を行ってください。詳細は「入学手続要領」にて確認してください。

文部科学省ホームページ	https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm
日本学生支援機構 奨学金ホームページ	https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html
日本学生支援機構 進学資金シミュレーター	https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html

(2) 入学料の免除及び徴収猶予

入学料について、学資負担者が、入学前1年以内に死亡または風水害等に被災するなど、特別な事情により入学料の納入が著しく困難と認められる場合は、選考の上、入学料の全額または一部が免除あるいは徴収猶予される制度があります。名古屋大学のホームページにも記載されていますが、詳細は「入学手続要領」にて確認してください。

(3) 奨学金

人物・学業ともに優れた学生であって、経済的理由により修学が困難と認められる場合には、日本学生支援機構をはじめ、地方公共団体、民間奨学事業団体等から奨学金が給与（給付）・貸与される制度があります。いずれも、選考の上、決定されます。

日本学生支援機構奨学金の詳細は、ホームページ（<https://www.jasso.go.jp/>）にて確認してください。募集日程等については、入学後まもなく、学内の掲示板および名古屋大学ホームページにてお知らせします。

▶(2)入学料の免除及び徴収猶予、(3)奨学金に関する詳細は、次のサイトをご覧ください。

<https://www.nagoya-u.ac.jp/academics/support/index.html>

▶名古屋大学での照会先は次のとおりです。メールで問い合わせの際は[a]を@に変えて送信してください。

(2)入学料の免除 及び徴収猶予	＜照会先＞教育推進部 学生支援課／奨学支援係 電話 052-789-2172 E-Mail shien-menjo[a]t.mail.nagoya-u.ac.jp
(3)奨学金 日本学生支援機構	＜照会先＞教育推進部 学生支援課／奨学支援係 電話 052-789-2175 E-Mail shien-jasso[a]t.mail.nagoya-u.ac.jp
(3)奨学金 日本学生支援機構 以外	*応募等の諸手続きは、入学後に在学生専用サイトで案内します。 ＜照会先＞教育推進部 学生支援課／奨学支援係 E-Mail shien-minkanshogaku[a]t.mail.nagoya-u.ac.jp

(4) 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

本学の入学者や在学者は、保護者を通じて、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を利用することができます。「国の教育ローン」は、教育のために必要な資金を融資する公的な制度で、入学金やアパートの敷金などの入学時の費用や、授業料や教科書代、アパートの家賃などの在学中の費用に幅広く使えます。なお、申込みは合格発表前にもすることができます。

詳しくは、教育ローンコールセンター（ナビダイヤル0570-008656）にお問い合わせいただくか、以下のページにてご確認ください。

（日本政策金融公庫ホームページ）

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

融 資 額	学生1人につき350万円以内（一定の要件に該当する場合は、450万円以内）
返 済 期 間	20年以内

2. 学生の宿舎等

(1) 名古屋大学国際^{おうめいかん}嚶鳴館

＜概要＞

ア 所在地等 〒466-0811 名古屋市昭和区高峯町165

東山キャンパスから南へ約700m（徒歩：約10分、自転車：約5分）

イ 入居定員 291名

男子：179人（うち、外国人留学生28人）

女子：112人（うち、外国人留学生32人）

ウ 入居期間 原則として1年（審査の上、延長可能）

エ 施設概要 居室は個室（13㎡）ですが、キッチン、リビング、洗濯室は共同利用です。

オ 設備概要 居室には、机、椅子、ベッド、ワードローブ、戸棚、ユニットバス・トイレ、エアコン、Wi-Fi環境があります。

カ 経 費 寄宿料 月額16,000円（共益費を含む。2025年4月現在）／光熱水料 実費

キ 申込資格 自宅（生計を一にする家族の住居）から通学に要する時間が片道2時間以上であること

ク 審 査 本学の審査基準に基づいて、経済的状況等総合的に判断します。

参考例：年収（給与収入）が4人家族（両親、本人、私立高校在学の弟または妹）で700万円以下 等

ケ 申込方法等 宿舎申込方法等は、名古屋大学のホームページで案内します。（2025年12月中旬予定）

https://www.nagoya-u.ac.jp/academics/others_campuslife/dormitory/index.html

(2) アパート・マンション等

入居希望者には、名古屋大学消費生活協同組合（名大生協）において、＜合格前予約会＞や＜お部屋探し相談会＞を開催し、紹介しています。詳細は、「4. -(3)」をご覧ください。

3. 学研災保険制度

学生教育研究災害傷害保険（学研災）は、学部生全員が加入することになっています。

理学部への入学者は、全員、以下のア及びイの保険に加入するものとしています。

入学手続時に、入学料と併せてア及びイの保険料〔保険期間4年間〕4,660円を納入していただきます。（ただし、入学手続時までに保険料が改定された場合は、改定後の保険料が適用されます。）

ア 学生教育研究災害傷害保険制度

正課中（授業中・研究活動中）、学校行事中、学校施設内にいる間、課外活動中及び通学中に生じた不慮の災害事故により身体に傷害を被った場合の被害救済措置としての保険制度です。

イ 学研災付帯賠償責任保険制度

正課中（授業中・研究活動中）、学校行事中、課外活動中、インターンシップ、教育実習、医学部の実習、ボランティア活動及びその往復において他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりしたことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償する措置としての保険制度です。

4. 学生生活の準備

(1) 定期健康診断及び健康相談

本学では、保健管理室（総合保健体育科学センター）において、毎年春に定期健康診断を行っています。また、心身共に健康で有意義な学生生活を送るために、心身両面にわたる健康に関して学生はいつでも気軽に相談できます。

(2) ノートパソコンの準備について

本学では、授業中にパソコンを使用するのはもちろん、遠隔授業の受講や自習のために、自宅やその他の場所でパソコンを利用します。また、シラバス（授業要覧）や教材の閲覧、レポート課題の提出及び履修登録や成績確認等の事務手続きなど、様々な情報がネットワークを經由して提供されます。そのため、個人用ノートパソコンの準備をお願いします。

ノートパソコンの推奨スペック等については、名古屋大学ホームページに掲載しています。



〔参考〕個人用ノートパソコンの準備について（名古屋大学ホームページ）

<https://www.nagoya-u.ac.jp/academics/curriculum/pc/index.html>

(3) 名古屋大学消費生活協同組合（名大生協）からのご案内

■一人暮らし・すまい紹介（アパート・マンション等）

名古屋大学消費生活協同組合（名大生協）は名古屋大学から業務委託を受け、賃貸物件の紹介を行っています。

名古屋大学周辺の賃貸物件のお部屋代は、ワンルームタイプで35,000～65,000円程度（共益費別）です。名大生協は、賃貸物件の他、家具家電付き・食事付きの学生会館も紹介できますので、お気軽にご相談ください。

理学部総合型選抜受験生向け「大学生協オリジナルマンション合格前予約」を、11月初旬より受け付けます。詳しくは名大生協・新入生応援サイト（<https://www.nucoop.jp/fresh/>）にて、順次情報を掲載しますのでご参照ください。

すまい相談会は、11月より名古屋大学生協すまいコーナー（南部厚生会館1階）にて、開催しています。ご来店の際は以下の予約サイトよりご予約の上、ご来店ください。

https://www.nucoop.jp/fresh/room/room_340.html

また、合格発表後の「すまい相談会」を下記の日程にて開催いたします。

期 間	時 間	会 場
令和7年12月13日（土）、14日（日）	10時～15時	東山キャンパス 南部厚生会館1階 すまいコーナー

ご予約の上、ご来店をお願いします（上記日程以外の、土日・祝日は休業です）。

<照会先> 名大生協・すまいコーナー〔電話 052-788-7875 メール nu-living@nucoop.jp〕

■入学準備説明会について

入学準備や学生生活に関する説明会を予定しています。

先輩名大生が、名古屋大学での生活や生協・共済・大学生活についての説明を行います。また、教科書購入方法などの入学準備や学生生活に関する個別相談も対応いたします。

説明会の詳細については、名大生協の「受験生・新入生応援サイト」をご確認ください。

<https://www.nucoop.jp/fresh/index.html>

名古屋大学消費生活協同組合の受験生向け情報提供・資料請求について

名古屋大学消費生活協同組合（名大生協）は、名古屋大学受験生・保護者向けに「住まい紹介」、「入学準備」、「教科書・教材申込」などに関する情報や冊子を提供しています。

また、受験時・合格発表後に入学準備に関する説明会・住まいの相談会も計画しています。

情報の取得や資料請求は、以下のホームページから行うことができます。

名大生協の「名古屋大学生のための受験生・新入生応援サイト」は以下のURLまたは二次元バーコードから

<https://www.nucoop.jp/fresh/index.html>



<名大生協の受験生向け資料に関するお問い合わせ先>

名古屋大学消費生活協同組合・本部 Tel：052-781-1111（平日10：00～17：00）

名古屋大学東山地区配置図

交通 地下鉄名城線
「名古屋大学」駅下車

▲は建物の出入口を示す



■出願～入学手続きに使用する主なサイトとその機能

サイト名	主な機能	URL
SakSak出願システム	●出願登録 ●入学検定料等の納入 ●「志願票」・「送付ラベル」のダウンロード ●「受験票」のダウンロード ●「合格通知書」の確認・ダウンロード(合格者のみ)	https://sak-sak.net/app/nagoyau 
合否照会サイト (期間によって機能が異なります)	●合否照会 ●機構アカウント照会(入学者のみ。3月下旬予定) ●成績開示(出願時に希望した一般選抜受験者のみ。4月中旬～5月予定)	https://sak-sak.net/app/pass/nagoyau 
Web入学手続きシステム	●「入学手続要領」及び「【必読】入学準備・入学当初に関するお知らせ」、提出書類(様式)等のダウンロード ●入学手続登録 ●入学料等の納入 ●「宛名ラベル」のダウンロード	https://sak-sak.net/fapp/nagoyauniv 



理学部関連サイト

名古屋大学理学部 入試担当

〒464-8602 名古屋市千種区不老町D2-11 TEL 052-789-2808